

令和7年度 マネジメント人材育成研修

研修のねらい

変化の激しい時代に対応していくため、経営管理者等は財務、戦略、マネジメントを明確に把握し、社員の個性を活かして自律的に動ける人材を確保するとともに、組織内の流動性を高め、新たな成長分野への投資と環境整備を進める必要がある。また、企業が持続的に成長していくためには、優秀な人材確保や信頼できる取引先獲得が不可欠であり、自社の魅力や価値を多様な媒体で発信する広報活動が重要となってきた。

研修のテーマ

- (1) 取引拡大・新分野進出など成長する企業となるため、自社の魅力を向上・発揮する柔軟な思考力を学ぶ。
- (2) 社員にとって、モチベーション高く、個性を活かして主体的に動ける環境整備を進めるための手法を学ぶ。
- (3) 企業の魅力的な情報発信での若手等の採用拡大や様々な媒体を利用した広報活動手法を学ぶ。

開催日時

第1回

9/25 (木)
12:45～16:45

第2回

10/8 (水)
12:45～16:45

第3回

10/16 (木)
9:00～16:00

第4回

10/23 (木)
12:45～16:45

第5回

11/6 (木)
12:45～17:00

テーマ

企業の魅力向上・発信（激しい時代を生き抜くビジネスモデルづくりとマインドセット、リーダーシップについて）

企業の魅力向上・活用①（企業の魅力を社内外へ発信し顧客との良好な関係を構築し取引拡大を図る）

企業の魅力向上・活用②（TWIを学び、ものづくり人材を創出し、企業の魅力向上と活用を図る）

企業（自社）の魅力向上（社員定着と自立型社員に成長させる環境づくり）

経営者による講演と企業視察

講師

「DX時代を豊かに生き抜くための処方箋」
柴田 孝 氏 （山形大学客員教授）

「企業経営の本質 ～組織の存在意義とは～」
小野寺 忠司 氏 （山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター センター長・教授）

「目標や目線が低いとまずうまくいきません。今後拡大が期待される小型衛星産業への参入を考えてみませんか？」
亀井 信一 氏 （㈱三菱総合研究所顧問（山形大学 森の学校寄附講座 教授））

「企業価値（魅力）を社内外へ発信する」
松本 晋一 氏 （㈱オーツー・パートナーズ代表取締役社長）

「リーン生産方式とTWIで人々の能力を引き出し、企業の魅力を高める」
成沢 俊子 氏 （ピーキューブ㈱代表取締役社長）

「お金以外の報酬の作り方3つのポイントについて」
池谷 昌之 氏 （㈱アフターリクルーティング代表取締役）
「若手社員の成長を促進し、組織の魅力を高める環境づくり」
伊藤 麻衣子 氏 （（同）work life shift 代表）

「山形朝日は働きやすさを重視し、設備改善や食事支援、女性活躍や健康ケア、人材育成など多面的に取り組んでいます」
深津 悟 氏 代表取締役社長 山形朝日㈱
（南陽市元中山213）

「人を活かす現場づくり セル生産方式と商店主制」
安部 剛 氏 代表取締役社長 三木ベルテック㈱
（米沢市泉町2丁目2-2819）

会場

（第1回～第4回）：山形県高度技術研究開発センター2階会議室 山形市松栄2-2-1
（第5回）：集合場所（山形朝日㈱）／解散場所（三木ベルテック㈱）

参加料

30,000円（全5回）

定員

15名

対象者

県内ものづくり企業の経営者、後継者、リーダーなど

申込方法

QRコードからお申込みください。Google formsが開きますので、必要事項をご記入ください。産業支援機構HPからもお申込み頂けます。受講が決定しますと、受講申込者に「受講決定通知書」と「納入通知書」を郵送します。受講料は納入通知書記載の期限までにお支払いください。なお、納入後の受講料の返却はできませんのでご了承ください。

締切日

令和7年9月12日（金）

お問い合わせ先：

公益財団法人やまがた産業支援機構 人づくり支援部

〒990-2473 山形県山形市松栄2-2-1 山形県高度技術研究開発センター1階
TEL: (023)647-3154 FAX: (023)647-3139 E-mail: jinzai@ynet.or.jp
担当 日野・鍾水まで

主催：山形県、受託事業者（公益財団法人やまがた産業支援機構）



◆講師プロフィール（講演順）

山形大学客員教授

柴田 孝 氏

米沢製作所（米沢日本電気株式会社(NEC)）に入社。世界初ノートパソコンの開発責任者として、開発管理の新しい仕組みの導入、生産革新、ものづくりのIT化、社内ベンチャーに携わり、取締役、エヌワイデータ社長等を歴任。その後、山形大学産学連携教授、新庄信用金庫顧問、NDソフトウェア株式会社取締役などを歴任。専門はものづくり経営戦略論、生産革新論。



山形大学

アントレプレナーシップ

教育研究センター

センター長・教授

小野寺 忠司 氏

NECにてPC開発のリーダーを務め、TFT液晶ノートPCや水冷PCなど革新的な商品を手掛ける。商品企画部門では数々のヒット商品を創出し、NECパソコンの基盤を構築。その後、NECパーソナル執行役員を経てレノボ役員に就任し、世界最軽量PC開発で「Best of CES Awards 2015」ベストPC賞を25個受賞。人工知能の事業化やNPO法人YRI設立を推進。レノボ退職後は山形大学教授としてイノベーション創出や起業家育成に尽力し、7年間で32件のベンチャー創出を支援。2022年アントレプレナーシップ開発センター(現アントレプレナーシップ教育研究センター)を設立し、センター長を務める。



株式会社三菱総合研究所 顧問

（山形大学 森の学校寄附講座 教授）

亀井 信一 氏

大学院を修了後、三菱総合研究所に入社。理学博士。専門は、物理化学、システム分析。宇宙実験、分子ナノテクノロジー実験、研究開発戦略や科学技術政策などの研究に従事したのち、先端科学研究センター長、人間・生活研究本部長、研究理事を経て現職。山形大学に創設された森の学校寄附講座の教授でもある。技術と社会の関係や社会実装論、小型衛星開発が現在の関心ごと。新庄市出身。将棋は六段。



株式会社オーツー・パートナーズ

代表取締役社長

松本 晋一 氏

早稲田大学政経学部卒。旭化成、外資系ITベンダーのディレクター、コンサルティングファームのディレクターなどを経て2004年3月に製造業特化型コンサルティング業務を行う株式会社O2（現オーツー・パートナーズ）を設立。

「口も出しますが、手も出します」をモットーに、世界的に知られる日本の有名企業から、エッジの効いた独自技術を有する中小企業まで、多種多様な分野・規模の製造業を支援している。



ピーキューブ

株式会社

代表取締役社長

成沢 俊子 氏

NEC勤務時代、トヨタ生産方式に学んだ生産性改善活動を担当。金融庁勤務を経てPEC産業教育センターにて改善を研究。企業の改善活動を支援する傍ら日米技術交流史を研究、世界の様々な国で改善実践を伝える。やまがた産業支援機構主催の「マネジメント人材研修」や「TWI研修」の講師を担当。



株式会社アフターリクルーティング

代表取締役社長

池谷 昌之 氏

静岡県出身。東北大学卒業後、株式会社リクルート入社。リクルートの採用担当、企業への教育研修の企画提案、企業の採用戦略の立案、大学生の就職支援等に携わる。2013年に独立。社外人事マネジャーとして多くの企業の採用・定着を支援。現在は、東北大学大学院経済学研究科 特任教授（客員）、山形大学非常勤講師、東北学院大学非常勤講師、宮城学院女子大学非常勤講師、株式会社リクルート外部講師など大学での指導のほか、行政主催経営者向け採用力向上セミナー講師、企業向け研修トレーナー、営業コンサルなど幅広く事業を展開している。



合同会社 work life shift

代表 伊藤 麻衣子 氏

人材採用・育成、組織開発、女性活躍推進等のコンサルタント、研修講師。大学卒業後富士電機(株)で国際営業を担当後、NPO法人ETICに転職。2014年に米国から鶴岡に移住し、ベンチャー企業の立上等に従事後、work life shiftを創業。

山形を選ぶ若者を増やす「サクラマスプロジェクト」、キャリア教育や探究活動の講師も担っている。山形県総合政策審議会委員、山形県若年女性県内就職・定着促進協議会委員。



山形朝日株式会社

代表取締役社長

深津 悟 氏

大学卒業後、精密板金加工会社で営業・生産管理・塗装・組立を経験し、平成7年に山形朝日株式会社へ取締役として入社。平成15年より代表取締役社長。トヨタ生産方式を取り入れ、社員満足度向上や働きやすい職場づくりに尽力し、若者や女性の定着率向上を実現。地域社会・環境にも選ばれる企業を目指す。



～経営者の講演&工場見学～

三木ベルテック株式会社

代表取締役社長

安部 剛 氏

平成22年に入社。PEC山田先生より生産革新のご指導のもと、平成30年には「日本IE文獻賞」を受賞。人を活かす人材育成を学び、生産管理をセル生産方式に取り込んだ商店主制に取り組む。受注→出荷までを1人完結型ラインとし考える工場を目指す。令和2年に代表取締役社長就任。社員全員が国家資格を取得する文化や技能五輪への継続的な参加により、令和7年「山形県知事賞」を受賞。

